

身体
表現



フリー
スクール



令和元年度 課題解決型ワークショップ

身体表現×フリースクール

フリースクールにおいて想定される課題

- ・ 社会とのつながり方が分からない
- ・ 自己表現が苦手
- ・ 自己肯定感の向上
- ・ コミュニケーション能力の向上

ワークショップ概要

からだをほぐすゲームや音や動きの表現活動を通して、講師や他の参加者と一緒に無理なく体を動かして楽しみます。ペアやグループワークでは他者と楽しみや喜びを共有し、それぞれが出来る範囲で役割をこなすことで、信頼関係ができ、自分に自信を持つことにも繋がります。

また、コミュニケーションが苦手な子どもでも、即興で奏でられる陽気な音楽に導かれ、優劣を争うことなく体を動かすことで、楽しみながら次第に自分を表現できるようになります。決まった正解の表現があるわけではなく、一人一人の感性から生まれる多様な表現を大事にし、お互いを認め合う場を作ることで、自己肯定感を高めていきます。

講師	新井 英夫 氏 (体奏家)
----	---------------

対象者	フリースクール参加者
-----	------------

実施日	2019年12月5日 (木) (1回実施、90分/回)
-----	-----------------------------

ワークショップ参加者の声

【先生の声】

- ・ 普段ゲームばかりで下を向いていた子供が、**いきいきとした表情で参加**しており「子ども」の部分を見ることができた。
- ・ 普段は狭いところでいて、エネルギーが有り余っているが、広いところで体を動かすことができ良かった。
- ・ **勉強をするとか、走るとか、踊るとか決まったことをやるのではなく、それぞれが自由に体を動かし、自分の感性を表現できていた。**
- ・ 活動に直接参加しづらい子どもに対しては、**その子にできる範囲の役割を与えてくれて、多様な参加のあり方が認められていた。**

【アーティストの声】

- ・ 初めから全員参加できなくていい、色々な投げかけをして**その子なりの参加の仕方を担保する**ことが大事。
- ・ 音楽やダンスなど、**言葉だけではない自己表現やコミュニケーション**の方法を体験してほしい。
- ・ 個々のセンスを活かして**無理に頑張らなくていい表現活動**をして、からだをほぐす、そして次第に心もほぐれてきたら良い。

【ロジックモデル】

